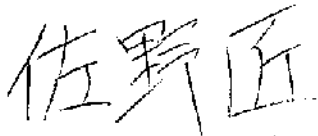




## 出張報告書

### 1.出張概要

- (1) 出張者名: 佐野匠 
- (2) 所属・役職: 尼崎市議会議員 市民グリーンクラブ
- (3) 出張先: 尼崎市中小企業センター
- (4) 出張期間: 2026年4月23日
- (5) 目的: 2026年新人議員特別セミナーin 尼崎『議員の資質向上と議会運営の基本』  
《改革の底辺から底辺の改革へ》

### 2.出張内容

本出張では、講師である自治体議会研究所高沖秀宣氏による講演に参加し意見交換することを目的としている。新人議員向けに議会の役割という基本から話していただき、わかりやすく、あらたに議会としてどんな責務があるのか確認することができた。

### 3.成果・所見

本研修・出張を通じて得られた知見や課題を以下に整理する。

#### (1) 議会の本質的な役割

##### ・議会の役割とは

地方都市をより住みよいまちにしていくために、考え、決定し実行することが必要であるが、市民全員が集まることは困難なので、選挙で選ばれた市議会議員と市長を代表して議論している。

市議会議員は市民の意見を市政に反映させるため、課題について議論し、どう処理すべきかを決めている。

市長は、必要な予算や条例などを市議会に提案し、議会を経て実際に市政を進めていきます。そのため、執行機関と呼ばれています。

##### ・議会とは何か

憲法93条には議事機関として議会を設置すると書かれている。一方で、議決機関ともいわれている。尼崎市の議会基本条例では議事機関と議会を定めている。

議会は誠実に職務をつとめるために政治倫理条例など具体的に行動のルールを制定すべきである。

自治体議会として、執行機関の監視、評価機能・議会からの政策形成機能の2つの機能が重要とされている。

ただし、政策形成機能の強化が消極的な議会が多いと高沖氏は問題提起されている。

## (2) 議会運営の基本

憲法上、地方公共団体の長と議会の二元主義が採用されていると一般に理解されている。これが二元代表制である。

国会は国権の最高機関であり、唯一の立法機関である。しかし、地方自治は執行機関と議会の関係は機関競争主義で唯一の立法機関ではない。

・二元代表制における議会の役割をどう捉えるか。

市長の追認機関ではなく議案等の審議又は審査を行うとともに、必要に応じて議案を提出することが職務である。与党、野党関係は生じない制度であるが、実態はどうか？議会の存在意義は何か？と高沖氏は問題提起されている。

## (3) 議員力・議会力の強化

尼崎市議会は議会力強化に向けてどんな取り組みをしているのかと高沖氏は問題提起されている。

・尼崎市議会基本条例第14条第2項「議員により構成される検討組織を設置することができる」と書いているが、設置されているのだろうか

・議員が各々の立場で活動しているが、議会として(議員間共有して)発言できているか。

・他市事例として、加須市議会基本条例には議会力(政策立案及び政策提言を議員間で共有しその政策実現に向けた総合的な力)、議員力(地域の課題を把握し、その解決を目指して調査し、および政策を構想する能力並びにその活動)が定義されている。尼崎市は政策立案・政策提言を議員間で共有できるか？

## (4) 議会改革について

議会が二元代表制のもとで、議会の役割を十分に発揮するために、その機能を強化することが議会力の強化ではないかと高沖氏は問題提起されている。

・早稲田デモクラシー創造研究所では、議会改革度ランキングを算出している。

- ① 政策力の強化(新しい技術も活用しながら、政策形成・政策提言を議会として行う)
- ② 主権者の参画(主権者である住民の意見を政策に反映させる仕組みの構築と実践)
- ③ 議会機能の強化(二元代表制の一翼を担う機関として、事務局を含めた議会全体の機能の強化)

3つの観点からつけており、2024年のランキングでは兵庫県下から西脇市議会(31位)、加西市(54位)、南あわじ市議会(63位)など15自治体が300位までにランクインしている。しかしながら、尼崎市は300位以下であり、他市と比べて議会改革がすすんでいないという結果となっている。

#### (5) 実践的な改革手法

自治体議会の機能強化にむけて他市事例を用いながら尼崎市の改革案を高沖氏よりいただいた。

・通年制議会: 会期を1年間にすることで、必要な時にいつでも会議を開き、専決処分を抑制して監視機能を高める。

・予算修正: 議会は長の予算の提出の権限を侵すことはできないが、増額修正できる。予算の修正案を思いがあれば提出していくことが大切である。

・一般質問から議会の政策提言へ: 一般質問で行われた議員個々の政策提言を決議につなげることにより、議会全体の政策提言に結び付ける。定例会終了後のアンケートを行い、市策提言につながるような質問を選び、さらなる調査を行ったうえで、議会運営員会で政策提言を取りまとめ、議会として「決議」して市長部局に送付してはどうか。

・政務活動費を調査研究費で使用するべき: 議会の議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として、その議会における会派または議員に対し、政務活動費を交付することができる。その金額を余らせるのではなく、全額を使用し調査研究すべき。

・多様性のある議会: 女性議員が立候補しやすい環境の整備をすべきである。育児休憩の創設を群馬県榛東村議会ではおこなっている。

・オンラインによる委員会、本会議の開催: 災害の発生や、育児介護などのやむを得ない事由によりオンラインで行うことを認める他市がある。

・尼崎市議会議員政治倫理条例について: 尼崎市にハラスメント防止規定はあるか。他市では政治倫理審査会を設置し、審査者は議員以外の外部の人間が選ばれているが尼崎市はどうか。

#### 4. 総括

今回は、新人議員向けに議会はどんな役割をもっており、どんなことを行っていくべきか、他市の事例を用いながら話をいただいた。尼崎市の良い点、気になる点を客観的に話していただきとても参考になりました。

尼崎市は議会を議事機関と定めていますが、他市では議決機関・議事機関と並列で示していることもあります。議決とは市役所側の目線がかかれており、執行機関が提出してきた案を可否するだけかのようなニュアンスが表れているのではないかと高沖氏は分析されていた。

西脇市では、市長の車座集会だけでなく議員たちによる議会報告会が開催されている。議員個々や会派だけでなく、議会として動かれ、議会機能強化について考えている点は尼崎市も見習うべきである。

もちろん、都市の規模による特性があることは配慮しないとイケない。しかし、中核市を2030年には移行を目指す所沢市は議会改革度ランキングで上位を獲得している。また、議会改革について考えることは適正な尼崎市での議員定数を定めることにもなる。

尼崎市の会派を尊重しながら、議員同士協力し、尼崎市の議事機関として建設な運営をおこなっていくことにつとめたい。尼崎市議会議員佐野匠は議会の構成員の一員であることを意識し、責務をおこなっていく。

新人からベテランまで

## 自治体議会特別セミナー in 尼崎

# 議員の資質向上と議会運営の基本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ尼崎地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

### (プログラム)

- 1 「二元代表制」における議会活動
- 2 議会運営の基本と通年制議会
- 3 一般質問と政務活動費の政策的活用
- 4 議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案

2026(令和8)年

日 時 4月23日(木)  
13:30~16:00 (2時間半)  
※受付開始は13:00~

会 場 尼崎市中小企業センター 研修室 503  
尼崎市昭和通 2-6-68 tel 06-6488-0900

受講料 10,000円(議員)、7,000円(市民・職員)(当日払)  
※テキスト代 2,500円含む。

自治体議会研究所 代表 高沖秀宣

講 師 (議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長)  
1953年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002年4月から三重県議会事務局で、政策法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。  
新著書『ポストコロナ時代の自治体議会改革講義』(改訂版、東京法令出版、2,500円)をテキストに使用

申込方法 下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。  
(参加申し込み者が少ない場合には、開催しないことがありますので要確認)

申込み・ 自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣)  
問合せ先 mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9時~19時)

